

2015 年 4 月 14 日

三井海洋開発株式会社  
三井物産株式会社  
株式会社商船三井  
丸紅株式会社

ブラジル沖合タルタルーガ・ベルデ油田及びタルタルーガ・メスティサ油田向け  
大水深対応 FPSO 備船事業を三井海洋開発、三井物産、商船三井及び丸紅の 4 社で推進

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、社長:宮崎俊郎、以下「三井海洋開発」)、三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:安永竜夫、以下「三井物産」)、株式会社商船三井(本社:東京都港区、社長:武藤光一、以下「商船三井」)及び丸紅株式会社(本社:東京都千代田区、社長:國分文也、以下「丸紅」)の 4 社は、三井海洋開発が推進しているブラジル沖合タルタルーガ・ベルデ(Tartaruga Verde)油田及びタルタルーガ・メスティサ(Tartaruga Mestiça)油田向け FPSO(注 1)1 基の長期備船事業(以下「本案件」)に対して三井物産、商船三井及び丸紅が出資することに合意し、本日付で関連諸契約を締結しました。

今回の合意は、三井海洋開発が設立済のオランダ法人 Tartaruga MV29 B.V.(以下「MV29 社」)に三井物産、商船三井及び丸紅が出資参画し、4 社で本案件を共同推進するものです。MV29 社は、ブラジル国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A.(以下「ペトロブラス」)と 2015 年 2 月 27 日に 20 年間の長期備船契約を締結済です。

完工後 に“FPSO Cidade de Campos dos Goytacazes MV29”と命名される本案件の FPSO は、2017 年第 4 四半期よりブラジル沖合の C-M-401 ブロックにあるタルタルーガ・ベルデ油田及びタルタルーガ・メスティサ油田の開発に投入される予定です。同油田は、リオデジャネイロ州マカエ市南東方沖合約 125km に位置し、本案件の FPSO は水深約 765m にある海底油田に係留されます。

本案件は、三井海洋開発、三井物産、商船三井及び丸紅が 4 社共同で取り組む 4 件目のブラジル向け FPSO 備船事業となります。

注1) Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備

<FPSO 概要>

原油生産能力	15 万バレル／日
ガス生産能力	176 百万立方フィート／日
原油貯蔵能力	160 万バレル
係留方式	スプレッド・ムアリング(水深 765 メートル)

<出資比率>

三井海洋開発株式会社	29.4%
三井物産株式会社	32.4%
株式会社商船三井	20.6%
丸紅株式会社	17.6%

<各社問い合わせ先>

■三井海洋開発株式会社

総務部

TEL: 03-5290-1200

FAX: 03-5290-1505

■三井物産株式会社

広報部 報道室

TEL: 03-3285-7596

FAX: 03-3285-9819

■株式会社商船三井

広報室

TEL: 03-3587-7015

FAX: 03-3587-7705

■丸紅株式会社

広報部 報道課

TEL: 03-3282-3243

FAX: 03-3282-2331